

障害者の災害対策チェックキットとは

障害者の災害対策チェックキットは、国立障害者リハビリテーションセンター研究所が主催する障害者の災害対策を考えるワークショップで提案・開発されました。大規模災害に備え、自らの障害に合わせた備えを日常的に考えておくことは重要です。しかし、何を備えれば良いのか分からず不安を抱える障害者の方々も多い事でしょう。このチェックキットは、そうした障害者の方々や支援者の方の「はじめの一步」を後押しするため、約60余りの備えリストを見ながら、自分に必要な備えを確認するためのワークショップキットです。

チェックキットの使い方

チェックキット一式を準備し、ファシリテータの指示（マニュアル参照）に従って以下の手順を進める。

①生活確認シートに記入

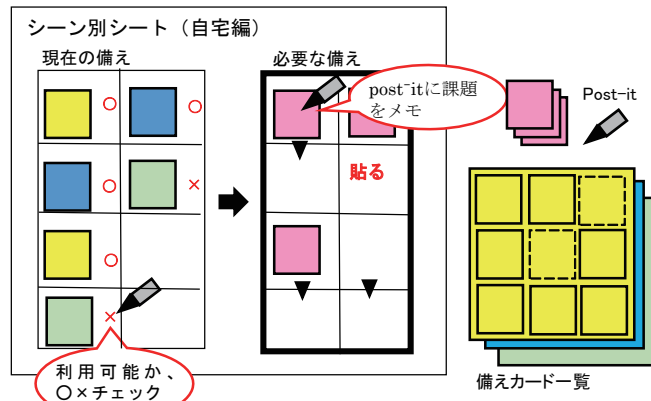
生活確認シートに、主な一日の活動を記入しながら、自分の生活に必要な機器や介助について確認する。

生活確認シート

居住地			
時間別行動	行動	介助	
6:00	食事	外出	トイレ
12:00			
18:00			
0:00			
		介助者	家族

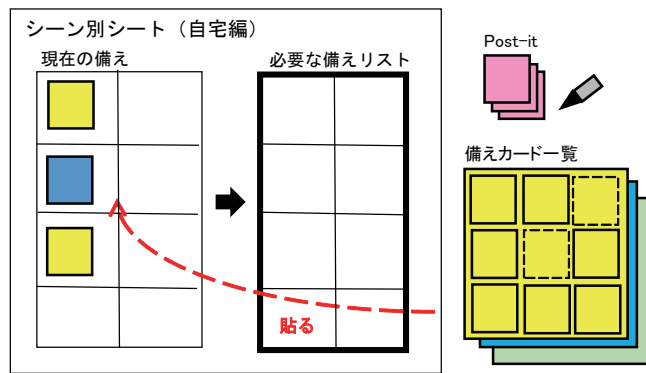
③質問を聞きながら現在の備えをチェックする

ファシリテータの質問を聞きながら、「現在の備え」(左側)の中で、使えそうなカードの横に○、使えなくなりそうなモノに×をつけ、課題となりそうな事柄をポストイットに記入し、「必要な備え」欄(右側)に貼り付ける



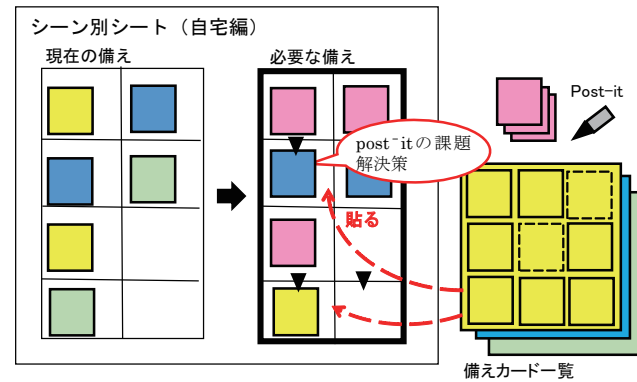
②備えカードから現在の備えを選ぶ

生活確認シートを見ながら、自宅で利用しているモノ、災害時に備えて用意してあるモノ・コトを備えカード一覧から選んで、シーン別シートの「現在の備え」(左側)に貼りつける。



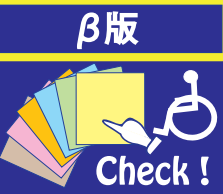
④備えカードから必要な備えを選ぶ

ポストイットの課題を解決するための備えを、再度備えカード一覧から探し、「必要な備え」(右側)に貼り付けると、右側に必要な備えリストが完成する。



障害者の災害対策チェックキット

～備えよう！その時のために～



国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発室 主催
福祉デザインワークショップ

